

指定管理施設評価 年間評価シート

令和7 年度評価（令和8 年度実施）

1. 施設概要

施設名	三田市立図書館(本館・ウッディタウン分館・藍分室)			施設分類	事業実施型
所在地	三田市南が丘2丁目11番57号(本館) 他				
指定管理者	TRC三田 (代表：株式会社図書館流通センター)				
指定管理者所在地	東京都文京区大塚3丁目1番1号			選定方法	公募
指定期間	令和6年4月1日 から 令和11年3月31日 (5 年間)	主な 業務内容	・ 市立図書館の利用及びその制限に関する業務 ・ 図書館条例第4条に規定する事業の実施に関する業務 ・ 市立図書館の施設等の維持管理に関する業務		
利用料金制	不採用				
施設所管課	市民生活部文化スポーツ課			電話	079-559-5145

2. 指標

施設の設置目的	図書館法の規定に基づき、図書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保存して一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資することを目的とする。				
管理運営における基本理念	「地域の知と憩いの拠点」として、地域の施設や団体と連携のもと、市民の生活に役立ち、潤いを与えるサービスを展開する。				
評価指標（下記の指標を【増加】又は【減少】させる管理運営を実施）			R7年度	R6年度	R5年度
1 来館者数	【増加】	（人）	523,439	545,963	528,778
2 来館目的の満足度	【増加】	（％）	94	94	92

3. 管理運営状況

施設 利用状況	項目	詳細	R7年度	R6年度	R5年度	
	利用件数(冊)【全体】	施設全体（貸出冊数）	869,646	922,293	933,930	
	利用者数(人)【全体】	施設全体（来館者数）	523,439	545,963	528,778	
	利用者数①(人)	本館（来館者数）	258,390	259,512	251,137	
	利用者数②(人)	ウッディタウン分館（来館者数）	234,319	256,012	247,788	
	利用者数③(人)	藍分室（来館者数）	30,730	30,439	29,853	
	事業実施回数(回)	おはなし会、各種講座、映画	331	310	258	
	事業参加人数(人)	会等	4,710	4,369	4,387	
指定管理者 の収支状況	(単位：千円)		R7【計画】	R7【実績】	R6【実績】	R5【実績】
	収入		210,157	210,214	210,205	208,993
	指定管理料	209,997	209,997	209,997	209,997	208,795
	施設利用料金	—	—	—	—	—
	事業収入等（複写機使用料その他）	160	217	208	198	
	支出		210,157	210,214	210,205	208,993
	人件費	133,111	127,183	127,089	124,835	
	光熱水費	8,530	8,749	7,867	8,010	
	施設修繕費	550	594	574	574	
	施設維持管理費・事業費等	67,966	73,688	74,675	75,574	
差引き		0	0	0	0	
市の使用料収入（利用料金制を採用していない場合）			0	0	0	

利用者 満足度 調査結果	実施時期	回答数	主な調査内容及び満足度（普通以上の割合）	
	令和7年12月	913件	図書館の設備・管理状況	93%
			スタッフの対応	98%

指定管理施設評価 年間評価シート				令和7 年度評価（令和8 年度実施）	
施設名	三田市立図書館（本館・ウッドタウン分館・藍分室）			施設分類	事業実施型
指定管理者	TRC三田		施設所管課	市民生活部文化スポーツ課	

4. 各項目における評価内容

評価の観点	評価項目	項目区分	指定管理者セルフ評価	市評価
Ⅰ.基本的なサービスの提供	(1)施設運営に係る協定事項の遵守	適正管理	3 適正	3 適正
	(2)利用者の安全確保	サービス効果	3 標準	3 標準
	(3)利用承認、案内等の対応と接遇	サービス効果	3 標準	3 標準
	(4)市、関係団体、地域等との連絡調整	サービス効果	3 標準	3 標準
	(5)施設の目的に沿ったサービスの提供	サービス効果	3 標準	4 やや優れている
	(6)目標の達成度	サービス効果	4 やや優れている	4 やや優れている
Ⅱ.施設の管理	(1)建物保守管理・設備機器類の安全管理	適正管理	3 適正	3 適正
	(2)収納・文書・備品の適正管理	適正管理	3 適正	3 適正
	(3)清掃・衛生管理・警備	適正管理	3 適正	3 適正
	(4)指定管理者が行う修繕	サービス効果	3 標準	3 標準
	(5)コスト削減、環境配慮の取り組み	サービス効果	3 標準	3 標準
Ⅲ.事業の実施 【事業実施型のみ】	(1)効果的な情報提供	サービス効果	3 標準	3 標準
	(2)委託事業（ソフト事業）の実施計画	サービス効果	3 標準	3 標準
	(3)委託事業（ソフト事業）の目標達成	サービス効果	3 標準	4 やや優れている
	(4)自主事業への取り組み	サービス効果	4 やや優れている	3 標準
	(5)共生社会の推進に向けた取り組み	サービス効果	4 やや優れている	4 やや優れている
外部評価委員会 による事業評価	(1)基幹業務	サービス効果		4 やや優れている
	(2)選書	サービス効果		4 やや優れている
	(3)広報	サービス効果		4 やや優れている
	(4)ITを活用した図書館サービス	サービス効果		4 やや優れている
	(5)子どもの読書活動推進	サービス効果		4 やや優れている
	(6)高齢者、障害者、外国人の読書環境づくり	サービス効果		4 やや優れている
	(7)ボランティアとの協働	サービス効果		4 やや優れている
Ⅳ.満足度向上への取り組み	(1)苦情等への対応	サービス効果	3 標準	3 標準
	(2)利用者獲得及び収入増加に向けた取り組み	サービス効果	3 標準	3 標準
	(3)利用者ニーズに応じた改善	サービス効果	4 やや優れている	4 やや優れている
	(4)利用者の満足度	サービス効果	4 やや優れている	4 やや優れている
(得点率＝評価項目の評点の合計÷満点×100)			得点率	74%
			総合評価	A

評価項目（項目区分別）における評価区分			
適正管理【3段階】		サービス効果【5段階】	
		5	優れている
		4	やや優れている
3	適正	3	標準
2	課題有	2	やや劣っている
1	要改善	1	劣っている



総合評価における評価区分		
得点率	→	総合評価
概ね80%以上 ※	→	S 優良
概ね70%以上 ※	→	A 良好
概ね60%以上 ※	→	B 標準
概ね50%以上	→	C 要努力
概ね50%未満	→	D 要改善

※評価項目に1つでも1の評価がある場合は、C以下とする

5. 総評

指定管理者による所見
・令和6年度途中から運用を開始している市民センター、郵便局における本の受け渡しサービスのほか、各種スマート図書館機能を年間を通じ安定的に維持しながらサービス向上に努めた。 ・利用登録率の低下に危機感を持っており、新規利用者獲得に向け、広報力をアップし、電子図書館をフックにしたマイナンバーカード連携や、学校連携による利用登録率拡大を目指していく。
市による所見
【成果】 ・令和6年度途中より開始している市民センター、郵便局における本の受け渡しサービスについて、利用が増加しており図書館から遠い地域の利用者の利便性を高めることができた。（市民センター：貸出7,021冊、返却11,863冊、郵便局：貸出747冊、返却909冊） ・絵本作家のワークショップや原画展の開催、ブックリストの作成、学校への出張講座等、こどもの読書活動推進において新たな取組を行った。 ・利用者アンケートでは、来館目的の満足度、スタッフの対応とも90%以上が満足との回答を得ている。
【課題】 ・利用者からは概ね高い評価を得ているが、潜在的な図書館利用者に対し、様々な図書館サービスの情報が届くよう、引き続き周知し、利用登録率の向上により来館者数の増加を目指す必要がある。
【今後の方向性】 ・潜在的な利用者に向け、ネットでの新規利用者登録や市民センター・郵便局での本の受渡、電子図書館等、様々な図書館サービスの周知に努め、利用者登録率の向上を目指すとともに、読書支援等、生涯学習施設としてきめ細かなサービスの充実を図っていく。